

平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

1 調査日時

平成30年4月17日(火)

2 調査対象

公立小学校等・特別支援学校小学部 第6学年
公立中学校等・特別支援学校中学部 第3学年

3 調査学校数及び児童・生徒数(東京都)

区分	学校数	児童数
小学校等	1,280校	91,528人
特別支援学校小学部	14校	54人
合計	1,294校	91,582人

区分	学校数	生徒数
中学校等	624校	73,103人
特別支援学校中学部	14校	68人
合計	638校	73,171人

4 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ◇主として「知識」に関する問題
〔国語A、算数・数学A〕
- ◇主として「活用」に関する問題
〔国語B、算数・数学B〕

(2) 生活習慣や学習環境に関する調査

- ◇児童・生徒質問紙調査
〔学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等〕
- ◇学校質問紙調査
〔指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等〕

5 各教科の平均正答率

※細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないことから、正答率については小数点以下を四捨五入した結果を示す。(文部科学省方針)

小学校	東京都(全国)	中学校	東京都(全国)
国語A	74%(71%)	国語A	77%(76%)
国語B	57%(55%)	国語B	63%(61%)
算数A	67%(64%)	数学A	67%(66%)
算数B	55%(52%)	数学B	49%(47%)
理科	62%(60%)	理科	65%(66%)

6 学力の定着が図られている問題例

【小学校・国語A】

【二人の会話】で、村上さんの説明として適切なものを、二つ選んで、書きましょう。

二人の会話

村上さん: 香山橋までの行き方は分かりますか。

えりか: すみません。図書館へ行きたいのですが、どう行けばよいでしょうか。香山橋の先にあると聞いています。

村上さん: そうですか。では、その橋をわたってまっすぐ行くと左手に警察署が見えます。そこを左に曲がるとすぐに図書館が見えてきます。

えりか: はい。香山橋までの行き方は分かります。でも、その先行き方が分からないのです。

村上さん: そうですね。でも、その先はよく分かります。

正答 3 (相手の知識を確認した上で説明している。)
4 (目印になるものを示して説明している。)

正答率 92.6% (全国 90.8%)

【中学校・数学A】

下の記録は、ある中学校の女子生徒9人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

37	41	43	45	47	50	50	50	51
----	----	----	----	----	----	----	----	----

(単位:回)

反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

正答 47
正答率 73.6% (全国 74.0%)

(参考) 平成29年度児童・生徒の学力向上を図るための調査

【資料】は、那覇の8月の毎日の最高気温を並べたものです。

【資料】から那覇の最高気温の中央値を求めなさい。

【資料】

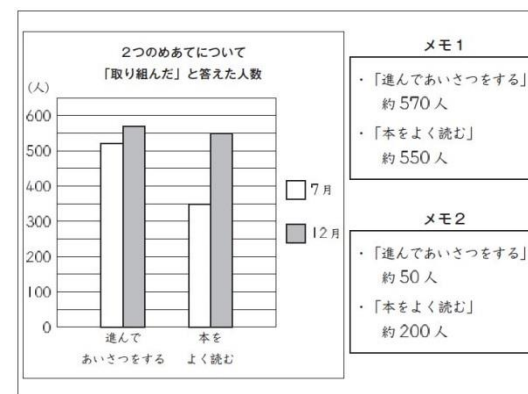
33.6	33.9	32.9	30.7	30.1
31.4	27.9	31.6	32.9	32.1
33.4	33.3	32.6	33.3	33.1
32.6	32.9	32.6	33.5	33.2
32.8	32.0	32.5	33.5	32.7
32.7	32.6	31.9	30.9	30.7
30.5				

正答 32.6
正答率 18.6%

7 課題が見られる問題例

【小学校・算数B】

グラフからわかることについて書いたメモについて話し合っています。しおりさんが言うように、メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書かれています。それぞれ着目していることを、言葉や数を使って書きましょう。



- えりか: メモ1を見ると「進んであいさつをする」のほうが多いです。でも、メモ2を見ると「本をよく読む」のほうが多いですね。
- まさる: メモ1では、「進んであいさつをする」のほうが多いですが、メモ2では、「本をよく読む」のほうが多いのは、なぜですか。
- しおり: メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書いているからです。

正答 (例) メモ1は、12月の人数に着目して書かれていて、メモ2は、7月の人数と12月の人数の差に着目して書かれています。

正答率 25.1% (全国 20.7%)
無答率 19.3% (全国 18.0%)

【中学校・理科】

ヒトの刺激と反応について、日常生活と関連する課題を、理科の授業で科学的に探究しました。

【日常生活との関連を考える場面】

先生: ところで、バスの注意書きの「お客様へお願い」を見たことがありますか。なぜ話しかけてはいけないのでしょうか。

生徒: 信号を見てブレーキを踏むのが遅れるからだと思います。

先生: なるほど。でも、信号を見てブレーキを踏むのが遅れることを確かめることはできません。そこで、運転中の運転士に話しかけてはいけない理由を探究するために、「反応の時間を測定する装置」を使って確かめることができる実験を計画しましょう。



部の反応の経路を下のように示したとき、 X に適する語句を書きなさい。

目 → X 神経 → 脳・脊髄 → 運動神経 → 筋肉

正答 感覚 または 視
正答率 47.2% (全国 57.2%)

誤答 中枢
反応率 15.6% (全国 14.6%)